学校法人 小林学園 本庄東高等学校
きりぐるま
第160号

第51回体育祭

六月六日（水）、熊谷ドームにおいて第五一回体育祭が行われた。曇り空ではあったがドームの中は、熱気にあふれていた。手に汗を握る白熱した戦いを勝ち抜いて学年優勝を飾ったクラスは、どのような思いを抱いたのだろうか。

３学年優勝　一貫２組

最後の体育祭。学年優勝。長縄、綱引き、タスクリレーという「皆で頑張るもの」での勝利が今回の自分たちの優勝に繋がったのだと思います。昼休みに地道に練習したことが本番で大きく発揮できたのだと思います。何もやらなければただの体育祭という記憶しか残らないでしょう。練習したからこそ嬉しい、悔しいという感情が生まれる。勝敗は関係なく楽しもうという考えもありましたが、やはり勝つことは嬉しかったです。高入生とは体格差のある一貫生で優勝するとは、思ってもみなかったけれど、最高の思い出になりました。

（三の一貫二　梅澤　里歩）

２学年優勝　９組

私が体育祭で学んだことは応援の大切さです。九組のメンバーが出る種目の時には、出ない人たちが応援することができました。応援は、している人もされている人も気分がよくなると思います。特に綱引きの時の応援は格別でした。決勝戦では出場しない人たちが近くで応援してくれてとても力が湧きました。また、皆で組んだ円陣は、九組ならではの円陣となり、クラスが一丸となったように感じました。綱を引っ張っているとき、皆の声が聞こえてとても嬉しかったです。

（二の九　篠原　大生）

１学年優勝　２組

体育祭を終えて私が最も強く感じたことは「積み重ね」の大切さです。二組は特に運動能力の高いクラスではありません。それでも学年優勝できたのは、騎馬戦や綱引き、長縄など一つひとつの競技でコツコツと点数を重ねた結果だと思います。小さなことが積もり積もって大きな結果をもたらすことを、身をもって感じました。さらに嬉しかったのは、クラスの結果に一喜一憂し、他の人の応援を全力でしていたことです。二組が皆で協力できるクラスでよかったと思います。

（一の二　千葉　愛美）

体育委員長

今年度も熊谷ドームで体育祭を開催することができました。皆さんの盛り上がりにより、素敵な体育祭を作り上げることができ、体育委員長としてとても嬉しく思います。この体育祭を通して築き上げたクラスメイトとの絆を大切に、今後の学園生活を有意義なものにしていきましょう。皆さんのご協力ありがとうございました。

（三の九　福島　範香）

応援合戦優勝

今回の優勝は男子全員一丸となってダンスに取り組み、どんな踊りにでも一生懸命になれた結果だと思います。最初は振りつけもなかなか決まらず、決まった後も練習時間が足りないなど、問題もありましたが、その中でも一致団結して一人ひとりが主役という自覚を持って完成させることができました。コミカルなダンスでの優勝は過去には無いようなので驚きました。

（三の九　小川　壱征）

ダンス部

写真協力
佐藤　里保（３－５）

体育祭で、演技を発表させていただきました。多くの方々からの温かいご声援に囲まれながら部員全員と踊ることができ、本当に嬉しく思います。この舞台は三代で踊れる最初で最後の舞台でもありました。多くの方々の支えがあったおかげでこの日を迎えられたと思います。本当にありがとうございました。これからも「明るく、楽しく、元気よく」頑張っていきます。

（三の一貫二　小暮　さや香）

中里研修（一学年）

四月二六日（木）から二七日（金）にかけて、一学年の中里校外研修が行われた。入学後初の宿泊研修だったが、どのような体験をしたのだろうか。

私は高校最初の学校行事である中里研修で、充実した時間を過ごすため、時間を意識し常に集団行動を心がけるという目標を立てました。エレベーターが混むため少し前から移動を始めるなど友人と考えて行動し、楽しい時間が増えました。また、クラス対抗のスポーツ大会では一致団結して競技に取り組み、クラスの結束が強まりました。仲間と共に精一杯運動するのは、とても楽しかったです。

今回の研修で学んだ集団の一員としての自覚を、今後の学校生活に活かします。

（一の八　坂本　陽菜）

たくみの里でのウォークラリーは、一つひとつの場所がかなり遠かったので、クリアできるか不安でした。しかし、班員と協力して時間配分を考え、励まし合いながら回ったおかげでスタンプを全て集められました。終わった後は疲れきり、ほとんど動けないほどでしたが、達成感でいっぱいでした。

入学した当初は緊張して自分から話しかけられず、友人を作れるか不安でした。しかし、研修で班員を中心に、クラスメイトとの友情を深めることができました。

（一の三　下山　凜）

ＰＴＡ・後援会通常総会

平成三〇年度ＰＴＡ・後援会通常総会は、五月二六日（土）に高校第一体育館にて開催された。前年度の事業・決算・監査の報告と、本年度の事業計画・予算について、いずれも賛成多数で可決された。また、左表の通り新本部役員人事が承認された。

続いて行われた保護者研修会では、東京大学薬学部教授の池谷裕二氏をお迎えし、「やる気と記憶のメカニズム」の演題で講演をいただいた。

平成30年度ＰＴＡ・後援会役員

（ＰＴＡ）

役職名	氏名	支部名
顧問	小林玉枝	――
会長	髙橋大介	本庄
副会長	大谷信行	深谷
	水出幸絵	群馬
	村山勝	寄居
監事	金井義幸	本庄
	百瀬美紀	群馬
	大久保葉子	熊谷
会計	佐藤由美	行田
	阿部悦子	熊谷
	徳永友子	児玉
埼私学保連	飯野正和	鴻巣以南
	平井幹子	鴻巣以南

（後援会）

役職名	氏名	支部名
会長	富田実	寄居
副会長	小山田智子	行田
	門倉貴信	熊谷
	竹並達也	本庄
監事	坂野克則	深谷
	吉井美穂	鴻巣以南
	眞下由佳里	群馬
会計	菅原悦子	児玉
	遠田恵子	群馬
	濵野明紀	深谷

（ＰＴＡ支部）

支部名	支部長名	担当教諭
本庄	森村　俊行	比楽・古澤・高坂
児玉	山本　淳	青木・有村・斉藤
深谷	山崎　典子	田村・宮嵜・村木
熊谷	畠沢　米子	山崎・二神・髙橋
行田	田沼　香織	関口・菊池・橋本
鴻巣以南	長谷川あゆみ	福田・飯野・福岡
寄居	田島　芳治	太幡・矢田部・楠
群馬	平形　公宏	唐澤・吉田・田口

発行・本庄東高等学校（附属青葉幼稚園）埼玉県本庄市日の出１－４－５　TEL.0495－22－6351　　印刷／㈲本庄孔版社　TEL.0495－22－4436
［ホームページ］http://www.honjo-higashi.ed.jp　［メールアドレス］mailadm@honjo-higashi.ed.jp